

# 東京湾海況情報 13 - 06

貧酸素水塊動向調査(6月21日分)

平成13年6月28日  
千葉県水産研究センター 富津研究所  
〒293-0042 富津市小久保3091  
0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

資料：水質観測(6/21 東京内湾：わかふさ)

内湾底びき網連絡協議会・東京都環境局・ふさなみ観測資料，一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

## 貧酸素水塊動向調査結果(6月21日分)ほか

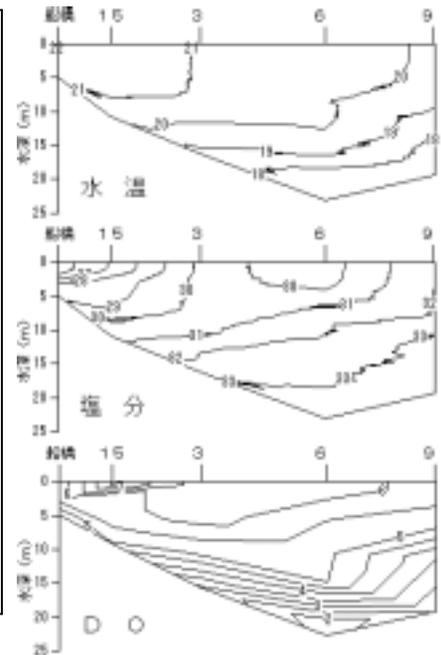
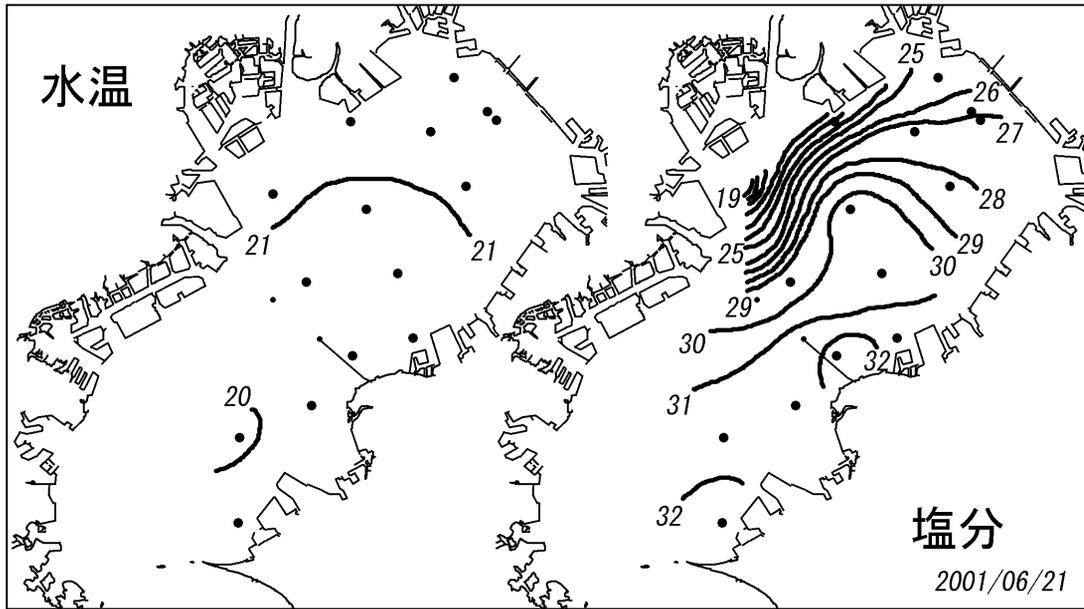


図2 内湾縦断面の鉛直分布

水温・塩分の状況

(図1~2, 表1)

表層の水温は19~21, 塩分は18~32でした。湾奥西部に低塩分水が分布しています。内湾縦断面の鉛直分布では水温17~22, 塩分25~33でした。

26日の表層の水温は20~23, 塩分は25~31となっています。

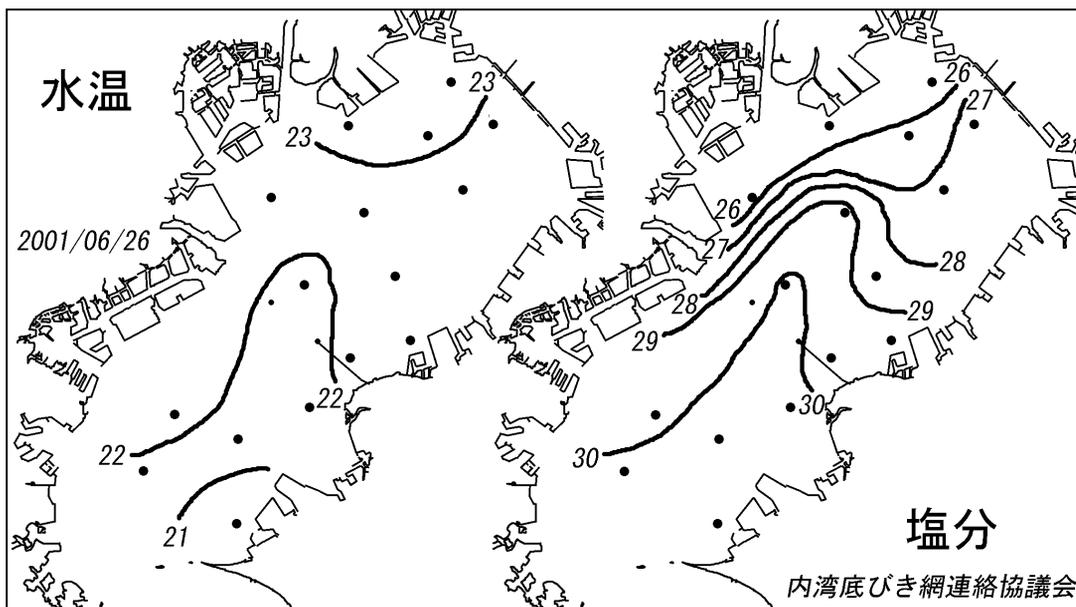


図1 表層の水温・塩分分布(下は6月26日内湾底びき観測分)

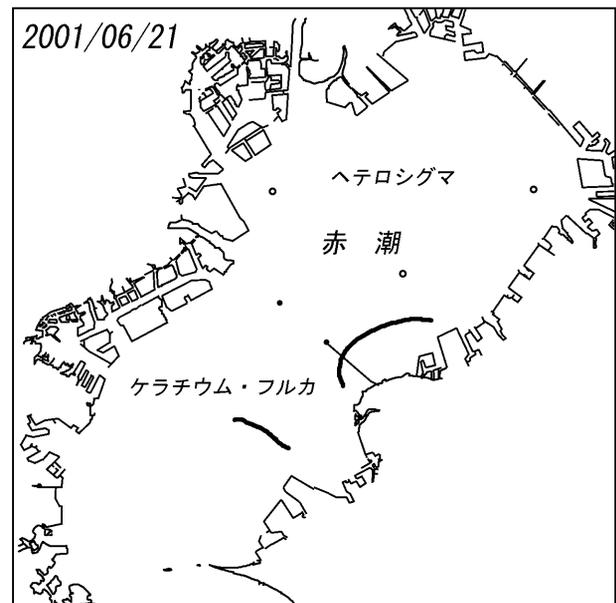
赤潮の状況(図3~4, 表1)

内湾全域で濃い赤潮が発生していました。湾奥部はラフィド藻類のヘテロシグマ アカシオ(*Heterosigma akashiwo*), 内湾中央部はケラチウム フルカ(*Ceratium furca*)が主体です(千葉県の赤潮の目安...色: オリーブ~褐色, 溶存酸素の飽和度: 150%以上, 透明度: 1.5m以下, pH: 8.5以上, クロロフィルa量: 50 µg/L以上)。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は24~278 µg/Lでした。

また観測後の6月25日には木更津, 当研究所前にも赤潮が接岸したほか, 内房海域にも広がっていたという情報も寄せられました。

図3 赤潮の分布



貧酸素水塊の状況 (図5, 表1)

観測ごとに多少変動がありますが、内湾中央部を中心に底層の貧酸素水塊は広がってきています。

水試では2.5 ml/L (酸素飽和度約50%)以下を貧酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。



図5 底層の溶存酸素量分布 (ml/L)  
(観測日, 観測機関は図中に表示)

表1. 水質調査結果(表層)

調査年月日: 平成13年6月21日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量 (μg/l)	DO(底層: ml/L)
船橋	1.0	22.0	25.55	8.9	151	4.6
St. 15	0.6	21.8	27.12	8.9	266	4.9
st. 3	1.4	20.9	30.26	8.7	121	2.9
St. 6	1.4	20.9	29.58	8.8	65	1.8
St. 9	1.8	19.7	31.98	8.5	65	2.6
盤洲Cブイ	2.1	20.4	31.97	8.6	29	4.2
盤洲Bブイ	2.1	20.3	32.18	8.6	29	4.4
St. 8 (盤洲Aブイ)	1.0	20.3	31.80	8.7	93	4.0
富津ベタ	2.1	20.2	32.42	8.6	29	4.4

透明度, pH, クロロフィルa量の網掛りは赤潮, DOの網掛りは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

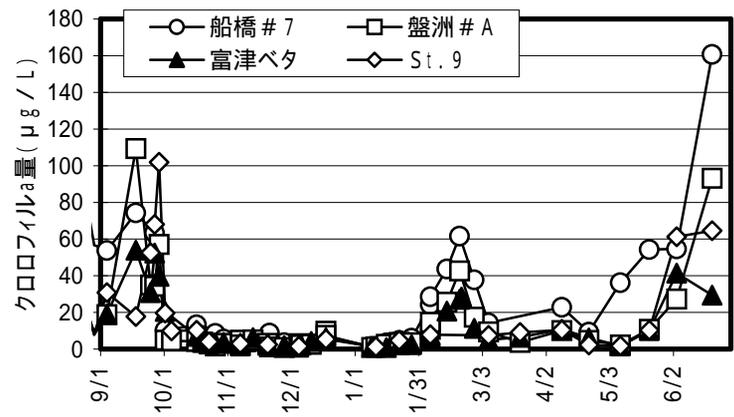
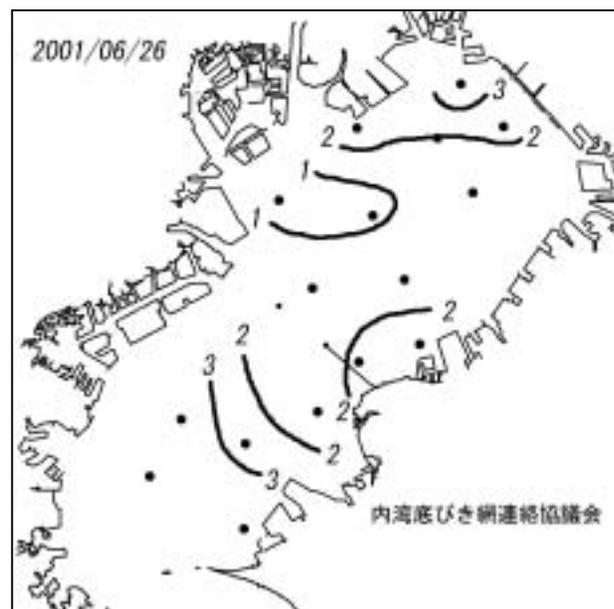
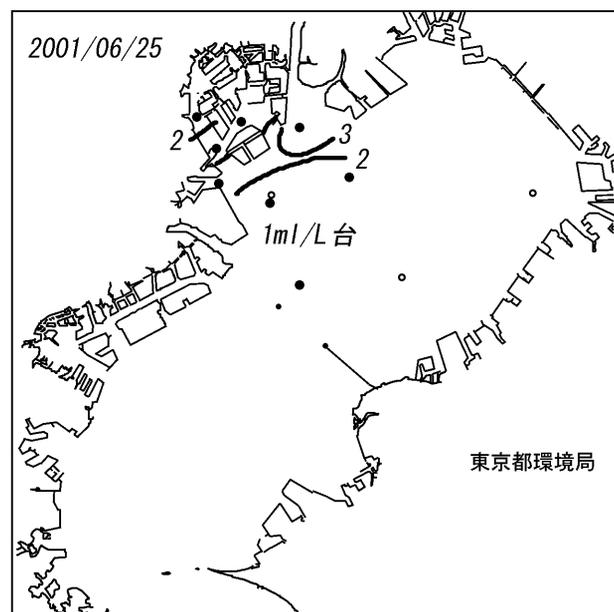


図4 クロロフィルa量の変化



東京湾情報ボックス

- 6/25 内房海域にも赤潮発生, (ふさなみ, 所内職員情報)

情報は水産研究センター富津研究所までお願いします

0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

Eメール cfbf@tokyo-bay.ne.jp